

平成28年(2016年)熊本地震 災害復旧支援のための寄付金募集について

○学校名 東海大学九州キャンパス（熊本校舎・阿蘇校舎・宇宙情報センター）
学校種 大学

○学校所在地 熊本校舎 : 熊本県熊本市東区渡鹿9-1-1
阿蘇校舎 : 熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陽
宇宙情報センター : 熊本県上益城郡益城町杉堂871-12

(法人番号) 131053
・学校法人名 学校法人東海大学

○寄付金募集について

1	2	3	4	5
授業料減免等	施設等の復旧	機器備品等の復旧	▼	▼

・寄付金の使途 :
その他の内容

○寄付金募集事業の概要

【授業料減免等】
被災された在学生及び2016年度秋学期・2017年度春学期入学希望者に対し、授業料等の減免を実施するための費用に充当いたします。
この他、就学支援・生活支援のために支給する見舞金の一部にも充当いたします。
【施設等の復旧】 【機器備品等の復旧】
建物の大規模修繕（調査の結果によっては全面的な建て替え）、実験実習器具・情報機器等の再整備を要するための費用に充当いたします。

・寄付募集ホームページ : http://www.tokai.ac.jp/donation/kumamoto_earthquake/

○被災状況について

【熊本校舎】
建物の各階の外壁にX型のクラックが発生し雑壁が損傷している。内部の雑壁でも各階でクラックが多く発生し、一部破壊されたコンクリートが剥離し鉄筋が露出している部分もある。また、一部のドアは開閉ができないほど変形している。体育館は、外壁にクラックが発生しており、屋内ではボードやタイルが剥離している。機器備品・什器については激しく散乱し損壊・損傷した。

【阿蘇校舎】
建物は、柱、梁の仕上げ材や表面のコンクリートが剥離して鉄筋が露出し、鉄筋が曲がっている部分もあり、柱が大きく変形している状態のままである。壁には多数のひび割れが、床には大きなひび割れが多数発生している。多くの構造部材が破壊され継続利用が不可能である。新耐震基準により建設した場所打ち杭の建物でも建物が傾きながら持ち上げられており、地盤が隆起していると考えられる（建物の端部で200mm高く、逆側で50mm高くなっている）。エキスパンションジョイントも大きく変形しており、建物同士が接触し建物間のクリアランスがなくなっている。クラブ寮では、土砂崩れ部が迫っており建物が一部傾いている状態である。今後の余震や大雨により土砂とともに崩落する可能性もある。外構は、全体にアスファルトが破壊され段差が生じ、地割れも確認されている。また、地盤が変形し建物とアスファルトが大きく離れている部分もあり、地割れの大きな部分では大型バスのタイヤが埋まるほどである。体育館は、庇部分の天井材が落下し、妻側の外壁にはクラックも発生している。機器備品・什器についても激しく散乱し損壊・損傷した。

【宇宙情報センター】
本館は、直接基礎の建物となっており建物が傾きが生じており、エキスパンションジョイントには段差が生じている。レベル差として建物両端部で48mmの差が生じている。一部の天井は落下し、壁には大きなクラックも発生している。また、機器備品・什器は激しく散乱し損壊・損傷した。機器備品を固定している一部のアンカーボルトは破断している。

○寄付金担当者 連絡先

電話番号 : 03-3467-2211 (代表)
e:mail : zaimu@tokai.ac.jp
担当者 : 法人本部財務部財務課 課長 長森 均